

平成25年度 第1回 ふれあい座談会

| | |
|-------|--|
| 主 催 | 滝自治会 |
| テ ー マ | 地域の問題点と行政の対応について |
| 日 時 | 平成25年6月8日（土）午後5時30分から午後6時45分 |
| 場 所 | 滝自治会集会所 |
| 参 加 者 | 50人 |
| 市 | 市長、秘書広報課長 |
| 司会者 | <p>市長を囲んで座談会ということで、皆さまお集まりいただきありがとうございます。この会は自治会ばかりでなく、老人会やこども会等、地域のいろいろな団体の方にお集まりいただいております。市長にお越しいただきましたので、忌憚のないご意見、いろいろ質問をお願いしたいと思います。</p> <p>(市長あいさつ) 省略</p> <p>参加者 自治会と老人会で新河岸川の河川敷をグラウンドゴルフで使用するために川越県土整備事務所に申請して認可をもらいました。しかし、整地をしないと使うことができません。年齢的にわれわれだけではできないので、市で早く整地をしていただきたい。</p> <p>市 長 市の職員で対応するのか、お金をかけて依頼するのか、またご年配の方々だけではたいへんということですが、地区の若い方々のボランティアをお願いしていただいで協力して進める方法などもあると思います。早急に方策を考えたいと思います。</p> <p>参加者 福岡高校の今後はどうなるのでしょうか。</p> <p>市 長 県からは、ふじみ野市で利活用したければ「ふじみ野市で買ってください」と言われています。問題として、今ある校舎等を維持管理するだけでも年間約3,000万円かかるそうです。買い取るにもお金がかかるし、維持するにもお金がかかる。では、どのようにするかということですが、事業の置き換えなどで高齢者や若い人たちに開放できる施設を確保することも考えられます。有効に利用するために「福岡高校獲得プ</p> |

プロジェクト」を立ち上げて、市役所でも思案しているところです。

参加者 総合グラウンドを別の場所に考えていると聞きましたが、福岡高校を使えば費用がかからないのではないのでしょうか。

市長 総合グラウンドについては、大井清掃センターを廃止しましたので、「解体して、新たにグラウンドをつくる」という事業計画にして合併特別債を利用して進める方法で、大井総合体育館を含めてふじみ野市西側のスポーツエリアとして考えています。反対に、東側も福岡高校の近くに運動公園がありますが新河岸川をはさんでいるので、行き来する場合には方策が必要となります。運動公園の近くに建設予定の新しい清掃センターの余熱利用施設は、子どもからお年寄りまで利用できるもの、例えばウォータープールや露天風呂などを設ける予定で進めていきます。

参加者 太陽の家を利用しているお年寄りから、市長に聞いてほしいと頼まれたので質問します。5月28日に太陽の家の解体と、新しくできる温浴施設の利用についての説明会が開催されました。これまでは利用者が食事を持ち寄り、お昼ごはんを食べられました。しかし、今度の施設は食事等の持ち込みは一切禁止で、施設内にレストランができるので利用してくださいとのことでした。私に依頼してきた方は、収入が国民年金のみで、家賃や医療費を支払った残りで生活していて、新しい施設でレストランを利用することになると、最低でも1食500円はかかってしまいます。そうすると今までのように利用できなくなってしまうので、これまでと同じようにできないか市長さんに陳情しようと考えていると言っていました。

市長 食事の持ち込みについては、正確には、食品衛生法等の関係があるため、現在、保健所と協議中というところです。正しくお伝えできず申し訳ありません。食事の持ち込みとの併用については、力を入れて考えていきます。

いま、利用者の方の生活状況をお聞きしましたが、市として福祉的な部分や医療的な部分でサポートできることもあると思いますので、施設の利用のお話以外にも、お困りのことがありましたら市役所にご相談いただければと思います。

参加者 二点伺います。まず、「災害に強いまちづくり」のためにタウンミーティングを繰り返してきたということですが、その成果は見てきたのかということをお聞きしたいと思います。自治会未加入者が大勢いらっしゃるということを知り、たいへん驚きました。そういう自治会がたくさんあるならば、災害が起きたときのことを考えると心配です。

もう一点は、市の職員についてです。利用者を避けるような姿勢の公民館職員が多いということです。例えば、施設の予約がなかなか取れないときに「機械で予約だから仕方ないよ」という感じですし、以前はもっと交流があったのにそれが薄れている気がします。市長はどのようにお考えでしょうか。

市長 「災害に強いまちづくり」について、大事なこととして、地域住民の皆さんの意識の問題があげられると思います。

ご指摘のとおり一番大事なのは、地域の絆だと思います。いざというときのために、日頃から地域のつながりに参加して意識を高めていただくために、昨年56回タウンミーティングを実施しました。「自治組織」というのは「自ら」が「治める」地域で、一丸となって取り組むことだと言いつけていきたいです。

先日、自衛隊も含めて、最悪の条件を想定して災害図上訓練を実施しました。大規模災害で同時に複数箇所で火災が発生した場合には、消火が間に合いません。その時には財産を守ることも、地域で避難を優先していただくという厳しい考えが導き出されました。

タウンミーティングの成果は、昨年12月2日に全市的な防災訓練を実施して、約7,000人もの方々が関心を持って参加されたということに結びついたことです。今年も8月25日に実施します。避難所に向かうときには「災害が起きたらここは電柱が倒れて通れない」とか、「ここは危険だ」とか想像しながら参加していただきたいと思います。

公民館については、今後は受益者負担ということを考えていかなければならないと思います。運営コストや効率面から予約システムを導入しました。高齢の方など機械の操作が苦手な方には、職員が直接対応するように言っています。職員にはいつも「市役所」は、「市民の」「役に」「たつ所」であると話しています。「急ぎの用事はないけど、市役所に行こうかな」、「また、行ってみたいな」と思っただけのような所にしたいと思います。

ご指摘の内容を職員にも話して、改善していきたいと思います。

司会者 自治会の加入率の問題についてですが、滝自治会においてもマンション等集合住宅があり、その世帯数は200から300世帯あります。集合住宅にお住まいの単身世帯の方など、なかなか自治会に加入していただけないのが現状ですが、今後ご協力をお願いします。

参加者 防災の関係で昨年、地域の仕事をしましたが、真剣味がなく災害が起こったら大丈夫なのかと心配になりました。「われわれ自身が動かなければならない」という意識を持たなければならないと思います。

防犯についても、ふじみ野市は安全・安心で住みやすいと言われていますが、実際には犯罪も起こっています。

市民が進んで参加し、みんなで共有して取り組むための活動、「だから自治会に加入しよう」となるような、市民の意識改革の方法を考えなければならないと思いますがいかがでしょうか。

市長 私もそこが最も大切なところだと思います。いま市役所の改革を進めていますが、市民の皆さまにも意識の改革を進めていただければと考えています。皆さまが自治組織の防災・防犯の取り組みについて、しっかりとした形にしていくために、自治組織が活動しやすく意識がさらに高まっていくような方法を、ご意見を参考にさせていただき、さらに真剣に考えていきます。ご意見ありがとうございます。

参加者 滝地区で公園の道路の下の崖が崩れ始めているところがあります。倒木などもあり危惧しております。財政的に厳しいでしょうが事故になる前に防護になるものをお願いしたいと思います。

市長 地域の皆さまには、新河岸川の環境保全にもご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。担当に指示して、至急確認します。貴重なご意見ありがとうございます。

(市長あいさつ) 省略

司会者 本日はありがとうございました。

